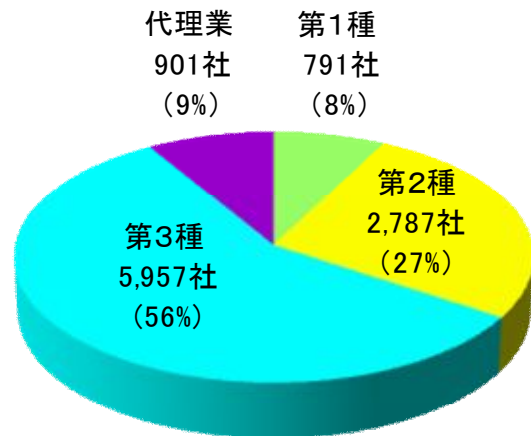


観光産業のイノベーション促進事業について

平成23年2月22日
観光庁 観光産業課

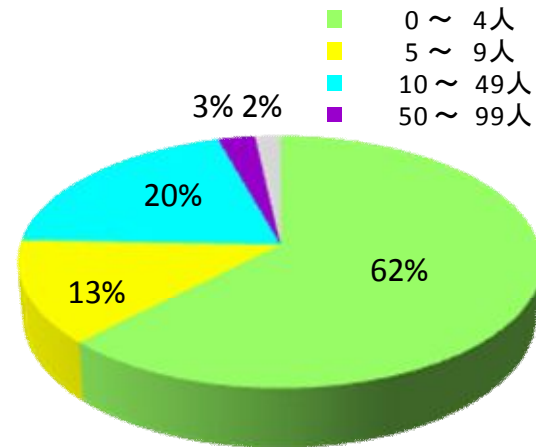
- 交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る上では、地域における旅行者の受入れの中核となる宿泊産業をはじめとした観光産業の国際競争力の強化が必要不可欠な課題。
- しかしながら、地域の観光産業は、家族経営などの小規模経営が多数を占めており、自立的な取り組みだけに委ねていたのでは、事業革新が起こりにくい状況にあることから、国が後押ししつつ、地域の観光産業の生産性の向上を進めることが必要。

旅行業者・代理業者の状況



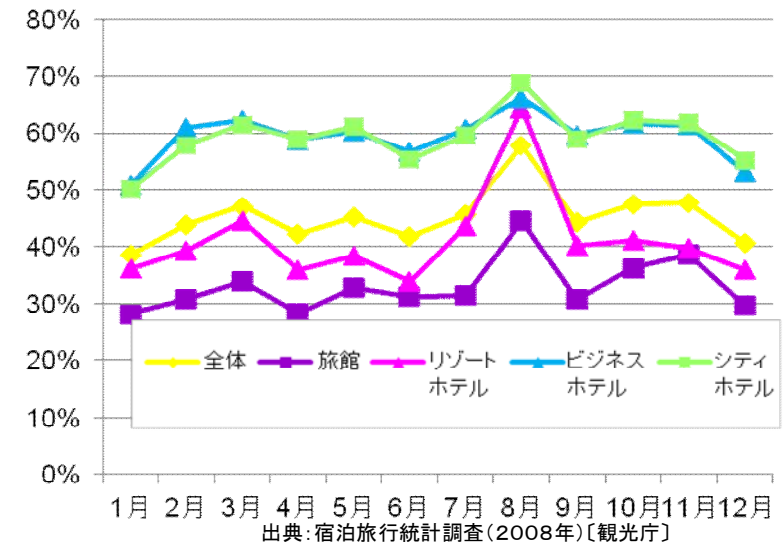
2009年4月現在

ホテル・旅館の常用雇用者数



出典:事業所・企業統計調査(2006年)[総務省]

ホテル・旅館の客室稼働状況



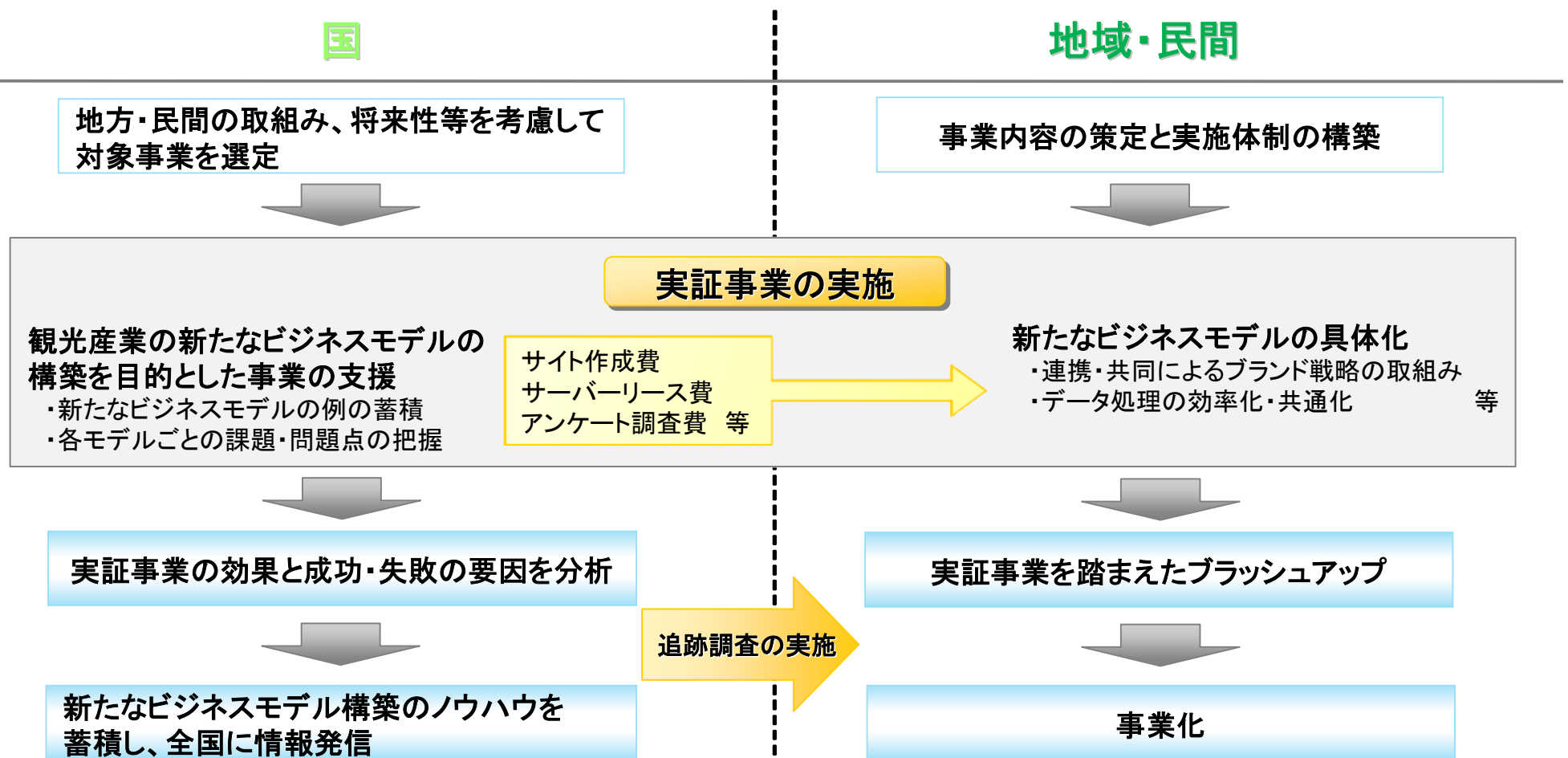
観光立国基本法(平成18年法律第117号)(抄)

(観光産業の国際競争力の強化)

第15条 国は、観光産業の国際競争力の強化を図るため、観光事業者相互の有機的な連携の推進、観光旅行者の需要の高度化及び観光旅行の形態の多様化に対応したサービスの提供の確保等に必要な施策を講ずるものとする。

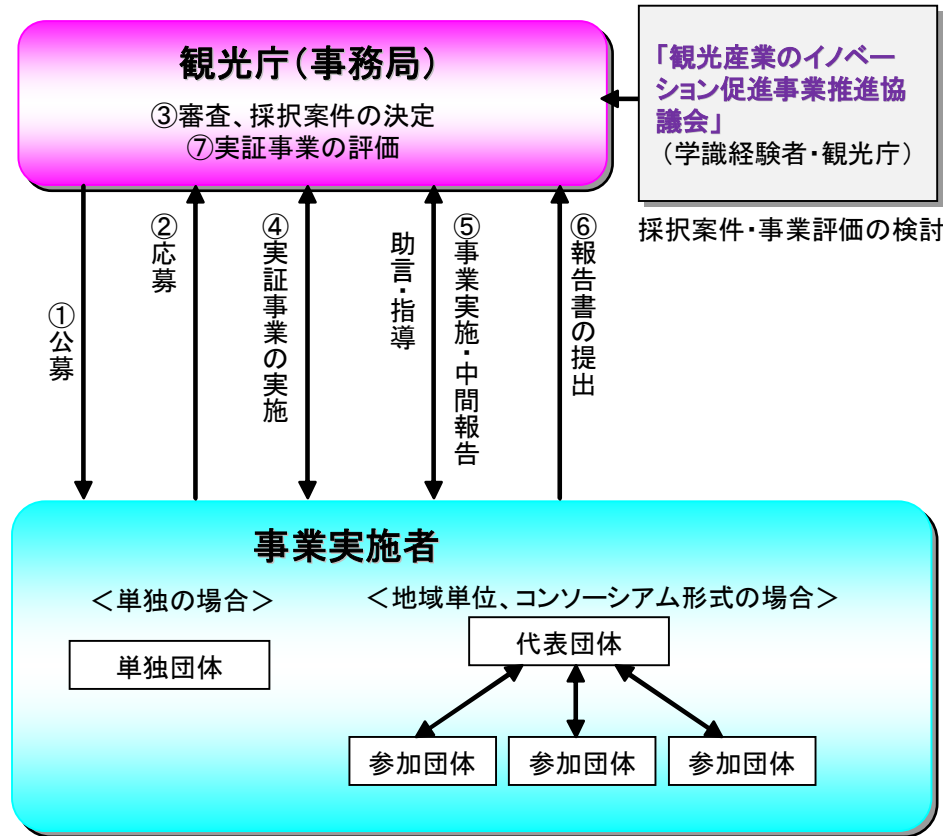
観光産業のイノベーション促進事業の概要

- 観光産業のイノベーションを促進するためには、全国的なノウハウの蓄積を行い、その普及・啓発を図っていくことが必要不可欠。
- 個々の取組みについては、地域・民間の主体性を基本としつつも、国において、全国的な展開に資する取組みを発掘し、一定の関与の下で、効果の検証等を通じて、他でも展開できる新たなビジネスモデルを確立するとともに、それを普及・啓発。



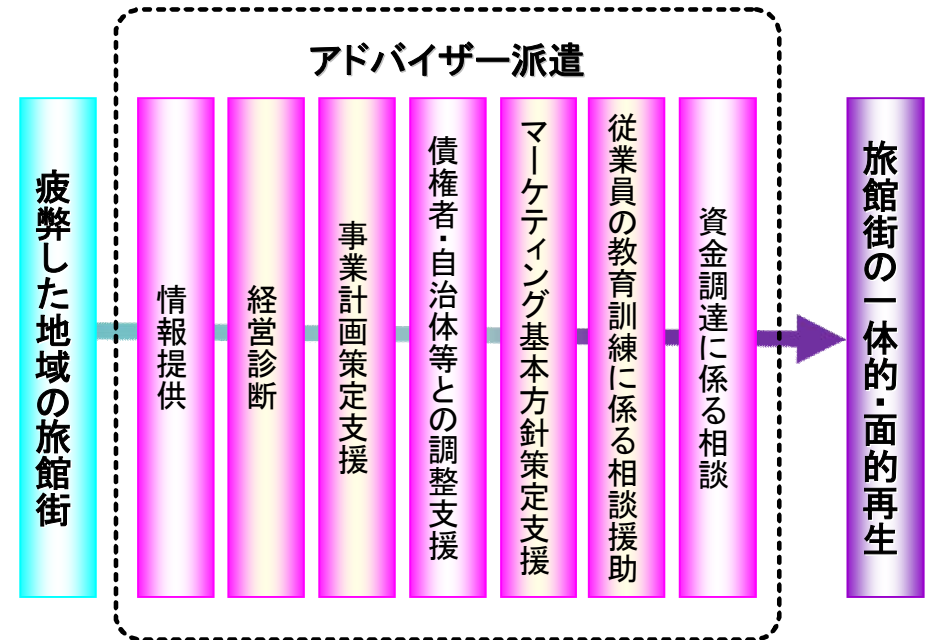
- 本事業では、観光産業における新たなビジネスモデルの構築に向けて、業務の効率化等に係る事業実施段階にある取組みや旅館街での客室稼働率の向上・業務の共同化等の取組み等の先導的取組みを推進するための実証事業を実施。
- さらに、平成21年度においては、旅館街の面的再生に係るアドバイザーの現地派遣も実施。

実証事業



旅館街アドバイザー

旅館経営に詳しい専門家(税理士、会計士、中小企業診断士等)をアドバイザーとして旅館街へ派遣し、経営診断や事業計画策定支援等を実施



観光産業のイノベーション促進事業(年度別実施内容)

- 地域や民間による自立的な取組みが全国的に行われるよう、先進的な事例を蓄積しつつ、その効果の検証等を行い、その普及・啓発を行うため、3か年にわたり本事業を実施。
- 平成20年度から実施している本事業については、平成22年を最終年度として、これまで実施した実証事業の総合的な検証等を踏まえた新たなビジネスモデルの普及・啓発を実施。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実証事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなビジネスモデルの例の蓄積 ・新たなビジネスモデルを構築する上での課題・問題点の整理 ・各モデル毎の普及・啓発を行う上での留意点の整理 実績: 6件の事業を採択	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなビジネスモデルの例の蓄積 ・新たなビジネスモデルを構築する上での課題・問題点の整理 ・各モデル毎の普及・啓発を行う上での留意点の整理 実績: 14件の事業を採択	
実証事業の追跡調査		<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度採択事業のフォローアップにより、新たなビジネスモデルを実施する上での課題・問題点の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度・平成21年度採択事業のフォローアップにより、新たなビジネスモデルを実施する上での課題・問題点の整理の総括
旅館街アドバイザーの現地派遣等		<ul style="list-style-type: none"> ・旅館街の面的再生に関する具体例の蓄積 ・旅館街の面的再生に関する課題・問題点の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度にアドバイザーを派遣した地域の再生状況等のフォローアップにより、旅館街の面的再生に関する課題・問題点の整理の総括
ガイドラインの策定等による普及・啓発			<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの策定やセミナーの開催による普及・啓発

観光産業のイノベーション促進事業(実証事業一覧)

実施年度	事業名	申請者(代表団体名)	事業概要
20年度	はちのへ『朝めし』『朝ぶろ』による朝の新規需要創出事業	(社)八戸観光コンベンション協会	ビジネス客を、地域資源である「朝市」「銭湯」に誘導を図るため、「朝の泊食分離商品」として開発、販売実験を行う。
20年度	「ニッポン湯治村」(Japan Toji Village)事業	「ニッポン湯治村」(Japan Toji Village)実行委員会((株)大沼旅館)	「湯治」を核に、東鳴子温泉内外での連泊・転泊を促進し、滞在需要拡大につながる予約・交流システムの構築を目指す。
21年度	門前町の再生と滞在型観光地づくりに向けた多様な主体による推進体制構築事業	柳津観光協会	旅館等の観光産業に加えて農家や地元住民、地域外の学生等を巻き込んだ多様な主体による滞在型の観光まちづくり体制構築を目指す。
21年度	地域資源が心を癒す！メンタルヘルスツーリズム事業	房総メンタルヘルスツーリズム推進協議会((株)JT法人東京)	メンタルヘルスツーリズムの効果を科学的に分析し、地元の観光事業者・旅行会社・大学・他業種企業などが連携して、プログラム開発や推進体制等について検討する。
20年度 21年度	「今夜は温泉へ帰ろう♪」プロジェクト	湯河原温泉旅館協同組合	深夜チェックインや夕食後チェックアウトといった変則型1泊2食の宿泊商品を開発し、大都市近郊温泉地における新規需要創出事業として販売実験を行う。
21年度	湯本温泉の多様な主体による朝の魅力向上プロジェクト～湯本流ランチ旅行の朝は地元色	朝の魅力向上委員会(湯本温泉旅館協同組合)	宿泊施設・商店・農家・漁家等が連携し、朝食の魅力向上や内湯開放等のプログラムを提供し、朝の時間帯の魅力付けによる滞在時間の延長と空き店舗の活用を目指す。
20年度 21年度	旅館客室流通効率化・高度化事業	旅館客室流通効率化・高度化事業推進コンソーシアム((社)国際観光旅館連盟)	オフシーズンにおける客室稼働の拡大のために、泊食分離・チェックイン・アウト柔軟化・高付加価値商品などをWeb販売し、消費者(国内・海外)ニーズを検証する。
21年度	地域主導型インバウンド振興のための国際マーケット対応ツール開発事業	地域主導型インバウンド振興コンソーシアム(NPO法人グローバルキャンパス)	海外市場開拓として、地域資源の整理や通訳案内士のネットワーク化等の外国人受入対応ツールを開発し、着地型観光とインバウンド事業を推進する。
20年度	宿泊施設予約通知フォーマット標準化事業	(株)シーナッツ	宿泊施設の予約情報の通知フォーマットの標準化に向けて、ヒアリングや試行による効果測定に取り組む。
21年度	「北海道ランドオペレーター協議会(仮称)」の設立・組織化推進事業	「北海道ランドオペレーター協議会(仮称)」設立準備委員会((株)HKワークス)	北海道内のランドオペレーターのネットワーク組織(協議会)設立に向け、協議会への要望・課題等を抽出し、組織目標、事業計画案、運営方法、体制等について検討する。
21年度	旅館業の地域協働による生産性向上・業態開発事業	生産性向上・業態開発コンソーシアム((社)四万温泉協会)	客室清掃を協働化し、生産性向上とレイトチェックアウトの実現を目指す。また、地元食堂でのランチの提供など朝の魅力向上による四万温泉の新たなブランド構築につなげる。
20年度	大人の滞在体験型観光システム構築事業	大人の滞在体験型観光システム構築推進委員会((株)庵)	大人の個人客を対象とする、知的好奇心を満たす体験プログラムや地域の一流の食、古民家・町家ステイについて、複雑な料金体系にも対応する予約システム構築に取り組む。
21年度	Slow Trip Japan FITを対象にした宿泊予約仲介、移動・宿泊支援実証事業	別府市外国人旅行者受入協議会	行政・大学・ボランティア団体等が参画し、外国人個人旅行者向け予約ツール・ロコミ型Web情報サービス等を検証し、小規模宿泊施設における業務効率化と新規需要開拓を目指す。
21年度	ECS調査を活用した宿泊経営プロセスイノベーションと共通ブランド構築事業	Nippon Accommodations CS調査委員会((株)滝の湯)	全国約60軒の宿泊施設において「拡張された旅行満足度(ECS)調査」を実施し、効率的な経営改善と、宿泊客の満足度向上によるリピーター化を目指す。
21年度	グループ内従業員交流(出向)による能力開発と各宿のノウハウ共有事業	(有)一の宿倶楽部	小規模個性派旅館という同じコンセプトを持つグループ(19件)で従業員の相互出向を行い、情報・ノウハウ・意見・意識等をWeb上で共有し、能力開発と人時生産性向上を図る。
21年度	温泉街における低未利用空間の一体的活用推進事業	会津東山温泉街づくり推進プロジェクト((株)くつろぎ宿)	旅館・地主・住民・地域外からの希望者等が参画し、未利用空間の活用法を検討することで、長期的・一体的な温泉街活性化を目指す。
21年度	北志賀竜王高原における持ち株会社方式による宿泊施設一体再生事業	北志賀竜王高原事業再生コンソーシアム(竜王ホテル&リゾート(株))	宿泊施設・事業再生専門家などが参画し、持ち株会社設立、新商品・販路開発、共同仕入れ、品質マニュアル策定等による生産性向上を進め、一体的な地域再生を目指す。
21年度	複数旅館による一体再生における現有不動産の有効活用と温泉街のにぎわい創出事業	湯涌温泉にぎわい創出プロジェクト実行委員会((株)秀峰閣)	旅館・金融機関・行政が連携し、各旅館が持つパブリック機能の再配置・魅力向上・飲食サービス提供などにより、来訪者の回遊性を高め、一体的な地域再生を目指す。

ねらい

【ねらい】

これまでの実証事業から得られたヒントを一般化するとともに、いくつかの実証事業を事例としてまとめることで、観光産業関係者の啓発を図る。

【ターゲット読者層】

観光に関する事業改善・地域活性化等に対してやる気はあるが、実行にあたって苦悩している方

(宿泊・旅行・観光協会・自治体・金融・農業等の観光周辺産業関係者 など)

【通読後の到達点のイメージ】

- ・イノベーションに対する意識の転換
- ・イノベーションの具体的な方向性・ヒントをつかむ

構成

理論編

I. イノベーションの必要性

- ・市場・経営環境の変化
- ・対処療法・追従手法ではない、自主的改革の促進

II. イノベーションの要素と組み合わせ

- ・「需要の創造」「後方部門の改善」「連携」の3要素
- ・イノベーションは、それぞれをこれまでにない新しい形で組み合わせた時に起こせることが多い
- ・自身はどのパターンを目指すのか

III. イノベーション・プロセス

- ・「起動フェーズ」「推進フェーズ」「継続フェーズ」
- ・IIで決めた方向で進めるにあたり、今の自分の位置
- ・各フェーズでの成功ポイント・要注意ポイント

相互に行き来しながら理解を深める

ケース編

実証事業のうち数例をピックアップし、
－事業概要
－背景
－有益な成功ポイント
－有益な失敗ポイント
をまとめる。



I. 山に登る気になる

II. 登る山を決める

III. 登山道をガイドする